

諸外国の文化財保存修復専門家養成 (②セ06-07-2/5)

目的

国内で混乱が続くイラクやアフガニスタン、また文化財の保存に対しては発展段階にある東南アジア諸国においては、文化財の保存修復専門家が決定的に不足しており、その養成が緊急の課題となっている。

文化遺産国際協力センターでは、アジア諸国での文化財の保存修復を担う保存修復専門家の人材育成のための事業を進めている。研修には、経験豊かな保存修復専門家の関与が必要であり、同時に専門家養成のための基本となる教材や方法を整備し、普及させてゆく必要がある。

本事業では、アジア諸国における文化財保存のための人材養成に貢献することを目的として、文化財保存修復の専門家を育成するための研修の実施と並行して、研修のための資料の作成を行っている。

成果

本年度は、文化財の保存修復の研修に活用するための教材として、樹皮文書の保存修復に関するDVDおよびテキスト、水浸木材の保存修復に関するDVDを作成した。

『樹皮文書の保存修復』DVDおよびテキストでは、アフガニスタン・バーミヤーン遺跡から発見された樹皮文書（仏典）の保存修復方法、使われる修復材料や道具について詳細に紹介している。現在、アフガニスタンは、治安の悪化により現地での活動が制限されている。そのため、樹皮文書（仏典）の保存修復については、現地の専門家を日本へ招聘し研修を行う必要がある。この研修において、本教材を利用する予定である。

『水浸木材の保存』DVDでは、発掘現場において出土した水浸木材の一時保存と、保存修復処置の過程について紹介している。とくに水浸木材の保存でもっとも重要な形状安定化の処理について、一般的な手法を詳細に説明している。このDVDは、日本と同様に湿潤の土壤をもつ東南アジアの遺跡発掘現場での保存修復研修に活用する予定である。『水浸木材の保存』DVDの作成にあたっては、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所の協力を得た。

- ・『水浸木材の保存』DVD 東京文化財研究所 08.2
- ・『樹皮文書の保存修復』DVD 東京文化財研究所 08.3
- ・『樹皮文書の保存修復』テキスト 東京文化財研究所 08.3

研究組織

○清水真一、宇野朋子、谷口陽子、廣野幸、有村誠（以上、文化遺産国際協力センター）、青木繁夫（客員研究員）、西尾太加二（財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所）



水浸木材の保存修復処置



（財）静岡県埋蔵文化財調査研究所での研修